

まつうら 市議会だより

第27号

平成25年2月1日

編集・発行

市議会だより編集委員会

電話(0956)72-0264

第4回
定例会



議場風景（12月11日 松浦高等学校生徒 議会傍聴）



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

平成24年 第4回定例会

平成24年第4回定例会を、12月7日(金)から12月18日(火)までの12日間の日程で開きました。

今回の定例会では、松浦市火葬場の設置及び管理に関する条例の制定など条例12件、平成24年度各会計補正予算11件、その他の議案9件の合計32議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。また、継続審査としていた平成23年度の松浦市一般会計及び各特別会計の決算認定13件を認定いたしました。

最終日には、同意案2件及び諮問1件が上程され、いずれも原案のとおり同意、了承しました。また、議員提出議案(松浦市議会会議規則の一部改正)を可決するとともに、意見書3件を可決いたしました。

会期日程

12月7日(金)

本会議

▽会期の決定

▽議長の報告

▽市長の市政概況報告

▽監査報告

▽常任委員会の行政調査報告

▽決算審査特別委員会の審査報告・採決

▽特別委員会の中間報告

▽議案の上程・説明・審議

▽議案の上程・説明・審議

▽請願の受理報告

(主管委員会付託)

8日(土)・9日(日)

10日(月)・11日(火)

▽一般質問

12日(水)・14日(金)

15日(土)・17日(月)

18日(火)

▽委員長報告・採決

▽議案の追加上程・説明・審議

▽議員提出議案の上程・説明・審議

明・審議

明・審議

議会の傍聴に お出かけください。



次の定例市議会は

3月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコンから視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス
<http://www.city-matsaura.jp>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL(0956)72-0264

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上、1人当たりの質問時間は60分間以内(答弁、関連質問を含む。)という取り決めになっています。

今定例会では、12月10日及び11日の2日間で7人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所 議会事務局
- 市役所 各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問



安江 議員

一、M R松浦駅のホーム屋根、待合室、駐車場などについて
二、西肥バスセンター跡の建物について

質問

一、(1)ホームの屋根は高すぎて雨が降り込み、待つ人は雨傘をささねばなりません。市民からの雨、風をしのげる対策の要望をどう考えますか。
(2)ホームに、御厨駅にある椅子を備えた小屋式のようなものを、文化会館側には調川駅にあるような椅子を設置できないか、M Rに要請する気はありませんか。
(3)待合室は、休業日が12月29日から1月3日ですが、松浦観光物産協会が入る前の休業日はどうでしたか。その利便性は向上していますか。
(4)市は協会に補助金2千400万円を出しています。サービス低下にならないようにすべきではなかったですか。
(5)待合室の外側のライトは、安全面に配慮して点灯すべきではないか。
(6)浄化槽跡地を無料の駐車スペースにはできませんか。

答弁

一、(1)ホームの屋根の高さは、松浦鉄道の基準で決められております。
(2)松浦鉄道に要望いたします。
(3)年中無休でした。休業日を定めたいことは、利便性が落ちたと言わざるを得ないと思います。
(4)ご指摘の点も踏まえ今後、協会、M Rと協議したいと思っています。
(5)自動販売機のライトもありましたので節電のため一部を点灯しておりませんでした。現在は全部点灯しております。
(6)ご指摘の土地は、M RのほかにJ Rの所有地となっています。両社との相談が必要になってきます。
二、(1)西肥自動車へは、早急な解体と跡地の活用を要請しておりますが、今の経営状況ではなかなか解体も厳しいとお話でした。
(2)西肥自動車に確認しましたが把握はできていないとのことでした。
(3)すべて松浦交通センターに移っていますので、影響はないと思います。
(4)M Rと乗り合いバスと西肥バスの三つの乗降場所を一つにすることで効率的になるという判断からです。

一般質問



白石 議員

一、御厨団地への進入道路にかかる橋の強度について
二、その後のふるさと納税について

質問

一、(1)先日、高速自動車道路で天井板崩落事故の報道があったが、老朽化が原因ではないかとも言われています。市内にある橋の強度は大丈夫なのかお尋ねします。
(2)市道以外の橋梁の中で、特に御厨団地に入る道路に架かる橋は、亀裂があり崩落の危険性があるように思われます。管理上どのように対応するのですか。
(3)市長としてどのような判断をしますか。
二、(1)平成20年度からこれまでご寄付頂いた寄付金の総額は、約669万円になります。その活用目的を「ふるさと松浦に対する熱い想いを、心なごみ安心して暮らせるまちづくりに資する」と定めていながら、活用実績はあまりありません。寄付された方の想いが無視されてはいませんか。
(2)松浦高校の全国高等学校駅伝大会出場や志佐小学校ミニバスケットボールチームの全国大会出場は、市にとって大きな喜びですが、一方で多くの費用が必要です。スポーツ活動を充実させるために、この寄付金を活用されてはいかがですか。

答弁

一、(1)市道の橋梁は206橋あり、その中で30年以上経過しているものが約70橋あります。適切な管理を行うべく平成21年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定したところであり、この計画に基づき、健全度の低い橋より順次修繕、補修を行ってまいります。
(2)御厨団地建設時の昭和56年につくられたもので、架橋後30年を経過しています。橋台の上部に亀裂が走っている状況ですので、現在、詳細な調査を行っています。
(3)調査結果により適切な対応をいたします。
二、(1)これまでのところ、オリジナル絵本の作製に60万円ほどしか活用してない状況であり、ご寄付頂いた方々のお気持ちにお応えできていないと思っております。現在、新年度に向けて全庁的に事業提案を募っており、できるだけ早い時期に事業化できるよう取り組んでまいります。
(2)寄付をして頂きます方々の篤志にお応えするためにも、有効に活用することが基本だと考えております。ご指摘のことも、今後検討してまいります。

一般質問

立 鈴
議 員

質問

一、若者、新婚の方あるいは結婚した若い世代の方々を対象にした市営住宅を建設し、園児や児童の増加を図ることによって小学校の統廃合を防ぎ、保育所が健全で安定した経営が図られるような対策を講じる必要がある。本市でも統廃合が進められている中、対策を講じないと上志佐小学校はその問題に間違いなく直面することとなる。全国的には児童が増加し、統廃合を免れた自治体がある。市としても一歩前に進めて、実効性のある対策を講じるべきであると思うが、市長の考えを伺いたい。

二、一時保育制度は、緊急時に子どもを預かり、不安なく保育が行われる制度と思うが、その制度は現在、円滑に運用されているのか伺いたい。

市内の保育所全体で一時保育の情報ネットワークを新設し、雇用環境が厳しい現状の中、育児家庭に不安を与えないような安全安心で健やかな保育行政制度に改めるべきだと思いが、担当課としての考えを伺いたい。

一、上志佐小学校統廃合を防ぐため、保育所の存続を講ずるための新婚者専用市営住宅の建設について

二、一時保育制度について

答弁

一、公営住宅の建設になりますと、現在の需要と供給や民間との関連を全体的に検討する必要があります。現在、子育て世代の方々に対しては、定住支援制度として定住奨励金、賃貸住宅入居費補助金、家賃減額助成あるいは医療費の助成、学校給食費の助成などを取り組んでおります。現在の支援制度をもう一歩踏み込もうご指摘ですが、今取り組んでいる制度がどのような効果があるのか検証し、効果がなければ次の施策を検討していく必要があると思います。

二、一時保育は、保育所を2か所以上併用して利用できることとなっておりますが、この扱いについて一部の施設で認識が不十分であったため保護者との間で誤解が生じた事例がありました。このことがわかった時点で市内の各保育所及び保育園に対して周知の徹底を行ったところです。情報ネットワークに関しては、施設長会議等に諮って一時保育システムの強化に努めてまいります。

一般質問

枝 久
議 員

質問

一、猶興館高校には昨年市内から80名が在籍し、御厨中においては松高希望者より多い17名が入学の現状である。松高再生のために、就学支援として入学準備補助金3万円、通学費全額、修学旅行費補助金6万円限度、模擬試験・資格取得試験受験料補助金、教材費等実費全額補助金、離島からの通学船賃全額と下宿代に對する補助金を出せないか。市は乗り合いバスに対し年間約2千350万円を出している。松高の制服であれば乗車賃を無料にできないか。更に、陸上部の寮費に別枠で3万円を補助できないか尋ねます。

二、合併から10年後の平成28年度から5年間で、交付税が10億円削減される。自主財源をつくる必要がある。

(1)福島町平野工業団地は何年間動いてないか。

(2)徳義炭鉱跡地は国の何らかの使用施策があるのか。平野工業団地や徳義炭鉱跡地を利用して、市のメガソーラー発電経営を提案するが、政策の問題としてどのように考えるか。

その他に公共下水道に関する検証とその延長について質問しました。

一、松浦高校全学生に対する就学支援制度の創設及び陸上部支援について

二、市・国の遊休地を利用し、太陽光発電所（メガソーラー）を市が建設し自主財源をつくることについて

答弁

一、松浦高校に対する支援については、現在、学校と具体的な協議を進めております。高校は生徒に直接還元できる支援を希望されておりますが、市としては松浦高校自体の魅力向上につながることもできないか検討すべきだと考えています。高校との協議が整えば、可能なものから支援策を講じてまいります。ご指摘の通学費等に関しては、支援策の一つとして検討いたします。

部活動の活性化は、松浦高校の魅力向上につながるものであると思います。その支援のあり方については、高校とよく協議をしてまいります。

二、(1)平成9年に現在の状態に埋立が終了し、ライト技研工業が約3千平方メートル購入された実績がありますが、残りの土地は約15年間動いていません。

(2)市の自主財源の確保は、最重要課題だと認識しておりますが、太陽光発電所に関しては、民間でできることはできるだけ民間で行っていただき、市としては、行政課題の解決に必要な事業を優先して、実施していきたいと考えます。

一般質問



嶋田
議員

一、松浦市が取り組もうとしている木質バイオマス事業化の進捗状況と今後について
二、梶谷城線及び浜ノ脇線市道整備について

質問

一、(1)本市の森林面積は約6千ヘクタールと市全体面積の半分を占める。9月議会で木質バイオマス事業化の調査研究予算570万円が計上されたが、その進捗状況について伺います。

(2)森林整備による間伐材のほか雑木林、荒廃が進んでいる竹林等の材も含めて木質バイオマスの良い原料となる。林業振興と木質バイオマス事業化に向けて専門職の配置が必要だと思うが、市長の考えを伺いたい。

二、(1)市道梶谷城線については、市民によって梶谷城を保存する会が立ち上げられ、草払い、枝切りなど道路と一体的な環境整備に取り組んで頂いております。道路整備の現在までの進捗状況とこれからの考えについて伺います。

(2)市道浜ノ脇線の改良工事については、浜ノ脇公民館の上までに通じる420メートルの間を、24年度から26年度までの3年間で工事が完成すると確認してよいかわかります。

その他に松浦市東部工業団地の進捗状況と今後について、市民運動公園400メートルトラック、テニスコート整備などについて質問しました。

答弁

一、(1)現在、間伐材等を木質バイオマスとして活用するための調査を専門業者に委託するとともに、森林資源利用研究会を設置し、その事業化に向けた計画の樹立に取り組んでいる状況です。

(2)何とか事業化を進めたいとの考えを持つており、専任職員を配置することについて、人選を行い、事業の推進を図ってまいりたい。

二、(1)市道土肥ノ浦線との交差点から奥の駐車場までの間、約600メートルについては22年度末に測量設計業務を終えています。厳しい財政状況のため、現在は事業を休止しています。既に用地のご相談もできている状況でもありますので、事業化を前向きに検討いたします。

(2)ぎぎが浜海水浴場入口から浜ノ脇公民館先の三叉路までの間、420メートルについては22年6月末に路線測量及び道路詳細設計が完成しています。改良工事に必要な用地面積も確定しており、現在、契約に向けた準備を進めております。今後の工事工程としては、24年度から26年度までの3か年度で完成させる予定です。

一般質問



山口
議員

一、新福島大橋建設に向けた取り組みについて
二、土谷棚田火祭りについて

質問

一、(1)現在、福島大橋はどのような補修工事が行われているのか。

(2)福島大橋は島民の生活の生命線です。液化ガスの供給拠点として九州一円へ生活エネルギーが供給され、

国有の備蓄施設もあることから大型トレーラーも頻繁に通行しています。

長寿命化計画に基づき、費用対効果の観点から施設の延命を図ろうとされていますが、防災面からの対策はどうされているのか。

(3)地元では築45年を機に新福島大橋建設促進期成会が設立された。しかし、市が率先して県や国に働きかけなければ実現は難しい。市長としてどう判断されるのか。

二、地元の方々のご努力で四年ぶりに土谷棚田火祭りが復活し、幻想的な美しい光景を見ることができた。(1)市として来年度からも継続的な支援が頂けるのか。

(2)全国放送のテレビでも「黄金に輝く日本一の棚田」として放映された。放映があることを市民にも知らせることができないか。

(3)安全面からも周辺の道路側溝蓋や歩道の整備等を行うべきではないか。

答弁

一、(1)県が策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、本年11月より橋台橋脚のひび割れ補修工、橋面の防水や舗装工、塗装の塗り替え工事が実施されています。

(2)橋梁の長寿命化計画は、橋の構造上の劣化の具合を判断するもので、専ら補修整備の基本となるものです。

県や市の地域防災計画上は、特に橋については取り上げておりません。

(3)地域の皆様が期成会を立ち上げられたことは、新福島大橋の重要性を考えられ、その建設に向けての活動であると認識しています。市としても連携協力して取り組んでいきたいと思っています。

二、(1)継続的な支援を行いますので、よりよい火祭りとなるような取り組みを是非お願いしたい。

(2)松浦市を紹介するテレビ放送があれば、それは相当のPR効果があります。放映等の情報が入手できれば、今後できるだけ防災行政無線で市民に周知したいと思います。

(3)以前にも県に要望しておりますが、改めて場所の確認等を行い、再度県へは要望いたします。

一般質問

吉原
議員

質問

一、(1)訓練中止となった当日の雨量、風速の状況はどうだったのか。

(2)今までの原子力防災訓練では、議員に案内があり訓練の視察や問題点の提唱をしていたが、なぜ今回は案内がなかったのか。

(3)異常な気象条件下において災害が発生する確率が高いとすれば、少々の風雨でも訓練はすべきで、海上保安署の船舶での搬送航行は可能と考える。訓練を実施してそれが不可能であれば、可能となるような対策を講じるべきである。訓練は、そのための検証をする機会だと考える。市長に今後の対応と決意を聞きたい。

二、(1)旧西肥バスターミナルは企業の資産であるとはいえ、市の表玄関松浦駅前にコンパネを張った建物は、市や商店街にとっても大変なイメージダウンにつながります。西肥バスに何らかの活用策か解体を要望すべきでは。それが不可能なら、市が購入し、解体し更地にしたらどうか。

(2)松浦駅プラットホームの待合室は、風雨のときは大変である。対策を松浦鉄道に要望するか、市で対応できないか伺います。

答弁

一、雨天のため中止された県原子力防災訓練の件について
二、松浦交通センター利用者の利便性の向上と、それに伴う駅前環境改善について

一、(1)当日の本市における雨量は、71ミリを記録し、佐世保市で100・5ミリでした。風速は、本市で最大瞬間風速16・1メートル、佐世保市で19・7メートルが記録されています。

(2)事務サイドの不手際で申し訳なく思っております。

(3)今回の訓練は、70を超える機関の参加であったため、県の判断により中止となったものです。本年の訓練は、昨年までのように市だけで行うものでなく、実際に東彼3町へ避難をして頂き被曝医療訓練等も実施する計画であったため、やむなく中止に至ったものです。

ご指摘の点については、そういう認識を持って今後対応しなければならぬと思っております。

二、(1)西肥自動車に解体の取り組みをお願いしているところです。地元商工会議所、浦区会等へもご検討頂いており、ご意見等があれば具体的な対応策を西肥バスと話し合い、一日も早く改善したいと思えます。

(2)松浦駅の施設の関係でありますので、松浦鉄道へ要望いたします。

常任委員会の審査概要

総務委員会

★議案第107号 松浦市手数料条例の一部改正について

この条例の改正は、都市の低炭素化の促進に関する法律の施行により、低炭素建築物新築等の計画認定申請手数料を新たに定めるものです。

★議案第111号 松浦市林業開発促進資金融資損失補償条例の一部改正について

関係法律に基づき、社団法人長崎県林業公社が公益社団法人となったことから関係条文の改正を行ったものです。

★請願第2号 拉致問題の早期解決を求める意見書決議に関する請願について

北朝鮮による拉致問題の全面解決、拉致被害者の早期帰国の実現を願い、請願の趣旨を妥当と判断し、市議会として意見書を国へ送付すべきものと決定しました。

文教厚生委員会

★松浦地区火葬場組合関連議案について

平成25年3月31日をもって松浦地区火葬場組合を解散することに伴い、組合の解散、事務の承継、財産の処分に関する議案と、併せて、解散後の火葬場の設置及び管理に関する条例制定の議案が提案され、いずれも原案のとおり可決いたしました。

★議案第118号 平成24年度松浦市一般会計補正予算(関係分)

長崎県安心子ども基金を活用した児童虐待防止対策緊急強化事業費が計上されました。児童虐待の実態調査や虐待を未然に防ぐための訪問用軽自動車購入等が主な内容となっております。

松浦児童館の解体工事費として400万円が計上されました。昭和39年建設以来、大勢の子どもたちに親しまれ利用されてきた児童館ですが、老朽化が著しく危険なため、解体されることとなりました。

産業経済委員会

★議案第118号 平成24年度松浦市

一般会計補正予算（関係分）

漁港管理費として松くい虫防除事業費250万円が計上されました。海のふるさと館横の広場の松に、薬剤注入による防除と枯れた松の処分が行われます。

委員会では、早い段階から対応すべきではなかったのかといった意見が出されました。

商工業振興費としてまちなか活性化推進事業費補助金136万円が計上され、商店街に設置されている街路灯のLED球への交換に対し補助が行われます。松浦商工会議所が事業主体として実施し、電気料金年間約25万円の削減効果が見込まれます。

委員会では、白色灯を設置すると、夏場には虫が寄りやすく苦情等も考えられることから、十分な検討を要するとの意見が出されました。

★議案第125号 平成24年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算

魚市場運営基金を財源に修繕費384万6千円が計上されました。同施設は設置後33年を経過し、老朽化対策のための増額です。施設の耐用年数は38年であり、今後は改築等の対応が必要となっています。

常任委員会の行政調査

総務委員会

平成24年10月10日から10月12日までの3日間、福井県敦賀市の「防災情報メール事業及び防災センター」についてと兵庫県三木市の「消防庁舎の整備事業」について行政調査を行いました。

【敦賀市】

敦賀市は、福井県のほぼ中央に位置し、北には敦賀湾が日本海に面し、古くから港とともに栄え、セメント、木材及び昆布の加工などが盛んです。定期コンテナ船や外国船の寄港地でもあり、北海道苫小牧との大型フェリーも運航しています。陸上交通網も整備が進み、北陸と京阪神を最短距離で結ぶ北陸線や湖西線、北陸自動車道が開通しています。

また、原子力と火力の発電施設が立地しており、エネルギー供給都市としての地域特性も持っています。昭和12年4月1日に市政を施行し、人口約6万8千800人を有します。

【調査概要】

敦賀市の防災情報メール（トンボメール）は、防災・災害情報を携帯電話やパソコンにメールで知らせるものです。ただし、登録が必要で通信費は利用者負担となっています。

避難勧告指示などの緊急情報、ミサイル情報などの国民保護情報、火災や交通事故による消防車の出動情報、地震・津波情報などを配信しています。携帯電話やパソコンを持っていない人には、防炎ラジオの無償貸与で対応したり、一時滞在者に対しては、携帯電話会社の緊急速報メールにより携帯電話に配信できるように取り組まれています。

また、阪神淡路大震災や新潟中越沖地震などの発生を機に、市民の防災意識高揚と高度な防災システムの整備が急務であったことから、大規模災害の対応拠点として敦賀市防災センターが建設されています。

施設には高機能消防指令センターが設置され、通報場所を瞬時に表示する機能や現場からの画像伝送装置などの最新鋭機器が整備されています。また、災害対策本部と消防指令システムとの接続が可能で、災害時

の要援護者情報等を基に即座に避難誘導等の初動体制に入ることができ、さらには防災放送室等が完備され、民間の敦賀FM放送と災害時の緊急放送協定が結ばれており、ラジオからも様々な情報を得ることができきます。

玄海原発30キロメートル圏内に入る本市にとって、防炎情報メールの取り組みは災害対策に適した事業であると思われます。他の配信機能についても、市民に関心度の高い事例に対応していると思われます。

今回の調査は、高齢社会や情報社会に対応した防災の取り組みとして大いに参考となるものであり、本市においてもこの事業の検討の必要性を感じました。



防災情報受信機



敦賀市防災センター

【三木市】

三木市は、兵庫県中南部に位置し、まちの中央部を加古川の支流と美^{みの}囊^う川が流れ、沖積平野と台地や丘陵から成る自然環境に恵まれた地域です。

主要産業である金物産業は、伝統に培われた優れた技術を有し、品質と性能の高さが全国的に高く評価されています。また、肥沃な土地は、酒造好適米として最高級品「山田錦」の産地としても知られる米どころです。

昭和29年6月1日に市制を施行し、人口約8万600人を有します。

【調査概要】

三木市消防本部消防庁舎は、阪神淡路大震災のような大規模地震にも耐え得る構造で、あらゆる災害に対する活動の拠点として整備されています。平成10年の用地決定から20年4月の運用開始まで慎重に時間をかけて検討がなされ、建設に約15億500万円の事業費が投じられています。現在は消防救急無線のデジタル化対応のため、平成28年4月運用開始に向けて計画が進められていました。

この庁舎内には、防災クイズコーナーや119番通報体験コーナーなど市民に親しまれる施設も設置され、防災に対する教育・訓練や災害時の飲料水、非常食、医薬品などの防災備蓄品も備えてありました。また、緊

急車両出動の際は、一般車両への注意を喚起するための緊急車両出動表示灯も設置されており、安全対策にも考慮されていました。

また、職員の動線を考えた部屋の配置や訓練時における屋外トイレの必要性、女性職員の採用を視野に入れた設計など様々な問題点を把握することができ、庁舎建設の際には実用性を考慮した設計が重要であると思いました。

本市においても、消防庁舎の建設が予定されています。先進地の事例を大いに参考にして、市民に親しまれる消防庁舎となるよう、市議会としても議論していくべきだと思います。



三木市消防庁舎

産業経済委員会

平成24年10月9日から10月11日までの3日間、北海道北見市の「地場産品の高付加価値化・販路開拓事業及び中小企業等振興条例」についてと網走市の「あばしり旅プランコンペ事業等観光振興事業」について行政調査を行いました。

【北見市】

北見市は、北海道東部の網走支庁管内のほぼ中央に位置し、面積は1千427平方キロメートルと北海道でも最大（全国4位、松浦市の約10・9倍）を誇り、東西の距離は石北峠からオホーツク海まで約110キロメートルにも及びます。

日照率は全国屈指の高さで、降水量も少なく、その気候を生かしてタマネギなどの農産物が生産されています。

市庁舎は、合併の時期に撤退した東急デパートを市が譲り受け、ここに市役所の機能を移しています。4階と5階を市役所に、1階から3階までをテナントとして利用しています。

平成18年3月5日に北見市と端野町、常呂町、留辺蘂町の1市3町が合併し、人口約12万4千300人を有し

ます。

【調査概要】

北見市では、地場産品高付加価値化推進委員会を設置し、地場産品を使った商品開発や販路開拓の取り組みを行っています。販売ターゲットをどこにするかでやり方が変わっています。首都圏向けの場合、北見産として販売しても認知度が低く、北海道産としたほうが消費者にはわかりやすいとのことでした。

松浦市に置き換えれば、関西や東京等の都市圏に対して行う場合、松浦産というよりも長崎産、九州産とした方が消費者ニーズに合った販売促進ができるのではないかと感じました。松浦のアンテナショップは福岡に設置しており、「松浦」をアピールするというのが目的はマッチしていると思われる。

また、北見市ではアジアへの販路開拓を検討していますが、流通経路や輸送時間に問題があるとのことでした。一方、松浦市は日本の西の端に位置し、アジア大陸には一番近いところがありアジア諸国との流通については利があると考えられます。

輸送経路の確立を図り販路開拓に力を入れるべきだと思います。

中小企業等振興条例については、中小企業基本法に基づき制定され、新規進出企業への支援制度や地場企

業への助成制度が盛り込まれており、有効であると感じました。また、市内の金融機関を通じて、預託金制度による金融面からの支援も行われています。

松浦市でも中小企業振興の要望等もあることから、早急な条例整備を図るべきだと感じました。



北見市

【網走市】

網走市は、平成6年に近隣4市町とともに「オホーツク北網地方拠点都市地域」に指定され、オホーツク圏の中核都市として発展を続けています。

オホーツク海に面し、一年を通じて晴天が多く、年間の降水量、降雪

量は少なく、毎年1月中旬頃には流水が到来しています。

主要産業は、畑作と酪農が主体の農業とオホーツク海や湖沼での漁業、水産加工業からなっています。

また、観光業も地域産業の柱となっており、オホーツク沿岸の景観を活かして、冬に客を呼びこむためにオホーツク流水館を設立したり、流水観光砕氷船おーろら号が就航するなど冬の観光を確立させています。

昭和22年2月11日に市制を施行し、人口約3万8千200人を有します。

【調査概要】

あばしり旅プランコンペ事業は素晴らしい発想だと感じました。この事業は、網走市に若者呼びたい、修学旅行生を呼びたいといった流入人口増を目的としたもので、その対象として大学生に自分たちが行きたい旅プランを提案させるといった方法でした。全国各地の大学から応募があり、そのことだけでも網走市を若者に知ってもらうという目的の一部が達成できたのではないかと思います。また、若者の発想を取り入れることで、地元の人には見えていない網走市の魅力を発見できたのではないかと思います。

松浦市には体験型観光で多くの修学旅行生が来ています。網走市の取り組みをヒントに、体験者の発想を

取り入れるような仕組みができないか検討することもおもしろいのではないだろうかと思いました。それにより松浦の魅力に付加価値を与えることにつながるかと考えられます。例えば鷹島神崎海底遺跡などの見学にオプショナルツアー等を考案し、観光地としての魅力アップを図ることができるのではないかと感じました。



網走市

特別委員会の動き

道路網整備促進 特別委員会

平成25年度道路予算の概算要求が平成24年度との比較で9パーセントの減と、非常に厳しいレベルであることから、整備局においても予算確保に向けて最大限の努力をしていくとのことでありました。

伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、10月31日に国土交通省九州地方整備局長に対し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路の整備促進及び松浦佐々間の早期事業化についての要望活動を行いました。

松浦市内での西九州自動車道の進捗状況は、山代今福間では若干用地買収ができていないところがあるものの、平成26年度の供用に間に合うように進められており、また、今福調川間においても用地買収や埋蔵文化財の調査及び平尾トンネルの工事年度の予定が発表できるところまで



九州地方整備局へ要望

きているとのことでした。
調川松浦間においても、用地買収、改良工事、橋梁工事に着手しており、そう長くないうちに供用目標年度の目途が立つのではないかとのことでした。

また、松浦佐々間は、ようやく環境アセスメントの手続きに着手することができ、順調に進めば、平成25年の2月から3月の間には準備書の縦覧ができるよう取り組んでいるとのことでありました。

企業対策 特別委員会

9月20日に委員会を開催し、水産加工団地への企業誘致と東部工業団地の進捗状況等について協議を行いました。

水産加工団地への企業誘致については、福岡県の水産関連事業者(㈱三陽から分譲申し込みがあり、面積3千527平方メートル(価格約3千700万円)を売却予定であるとの報告を受けました。計画では、雇用人数約50人が予定されており、平成25年7月頃の操業開始を目指して事業が進められるとのことでした。

市としては、今回の進出で同団地の分譲用地が完売したことも踏まえ、今年度中に排水処理施設の基本設計の見直しに取り組んでいきたいとのことでした。

東部工業団地については、分譲単価1平方メートル当たり6千円を軸に設定したいとの考えが示されました。東部工業団地に対する企業立地奨励条例も特例措置や雇用に対する奨励制度等の拡充がなされており、今後の積極的な誘致活動が期待されます。

10月18日の委員会では、福島町平

野工業団地へのメガソーラー発電事業者の公募についての報告があり、委員からは、整備に多額の投資を要した工業団地には雇用が生まる企業を誘致すべき、との意見等が出されました。10月30日の委員会では、先の委員会での意見も尊重し、市としては今回の公募は行わないと判断するとともに雇用力のある企業の誘致に引き続き取り組んでいくとの考えが示されました。

委員会終了後、武雄市と波佐見町の工業団地の現地視察を行い、長崎県と波佐見町から企業誘致の実績や取り組みについて説明を受けるとともに、意見交換を行いました。

波佐見町では、長崎キャノン株式会社の新進出以降10社が進出しており、新たな町営工業団地も平成25年4月に分譲開始予定とのことでした。

また、継続的な企業訪問と情報収集を行い、長崎県産業振興財団とともに訪問にも同行されるなど、誘致活動を精力的に展開されていました。

本委員会としては、引き続き企業の誘致と育成並びに雇用の拡大に向けた施策に対し、これらの調査結果を踏まえつつ今後の活動に活かしていくこととしております。



波佐見町営工場団地造成



武雄市営工場団地

議会 日誌

11月

- 1日◇決算審査特別委員会
2日◇決算審査特別委員会
5日◇決算審査特別委員会
◇松浦地区火葬場組合議会臨時会
7日◇全員協議会
8日◇青森県六ヶ所村議会視察来市
◇決算審査特別委員会
9日◇長崎県離島振興市町村議会
長会・長崎県町村議会議長会
による県知事への要望活動及
び合同研修会 (長崎市)
13日◇離島振興市町村議会議長全国
大会 (東京都)
14日◇長崎県離島振興市町村議会議
長会・長崎県町村議会議長会
による県選出国會議員への要
望活動 (東京都)
15日◇全国市議会議長会地方財政委
員会 (東京都)
19日◇市議会臨時会
◇全員協議会
30日◇議会運営委員会

12月

7日～18日

◇第4回市議会定例会

19日◇全員協議会

1月

15日◇全員協議会
16日～18日◇長崎県市議会議長会行政視察
(沖縄県名護市、うるま市)17日◇宮城県気仙沼市議会視察来市
21日～22日◇長崎県三市議会(平戸・松浦
・五島) 正副議長会(五島市)23日◇市議会だより編集委員会
30日～31日◇伊万里・平戸・松浦市議会・
佐々町議会西九州自動車道建
設促進協議会による中央要望
活動 (東京都)

傍聴のしかた

本会議は一般に公開され自由に傍聴できます。

傍聴を希望される方は、市役所5階の傍聴席入口にある傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入して入場してください。

傍聴席での飲食・喫煙は禁止されています。また、録音・写真撮影・ビデオ撮影等は事前に許可を必要とします。



11月臨時会

11月19日に臨時会を開催し、議案1件、同意案1件の審議を行いました。

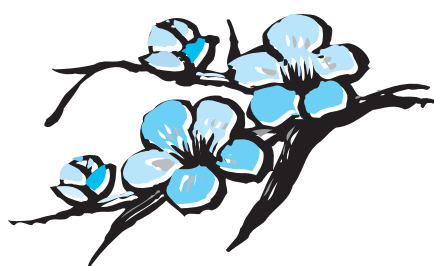
議案等の審議結果は、次のとおりになりました。

●平成24年度松浦市一般会計補正予算(第4号)

.....原案可決

●松浦市副市長の選任について

.....同意



議案等の審議結果

予 算

◎平成24年度松浦市一般会計補正予算 (第6号)	原案可決	□平成24年度松浦市鷹島診療所事業特別会 計補正予算(第3号)	原案可決
□平成24年度松浦市国民健康保険特別会計 補正予算(第3号)	原案可決	◇平成24年度松浦市松浦魚市場特別会計補 正予算(第3号)	原案可決
□平成24年度松浦市後期高齢者医療特別会 計補正予算(第2号)	原案可決	◇平成24年度松浦市臨海土地造成事業特別 会計補正予算(第1号)	原案可決
□平成24年度松浦市介護保険特別会計補正 予算(第3号)	原案可決	◇平成24年度松浦市水道事業会計補正予算 (第2号)	原案可決
◇平成24年度松浦市簡易水道事業特別会計 補正予算(第2号)	原案可決	◇平成24年度松浦市交通事業会計補正予算 (第2号)	原案可決
□平成24年度松浦市福島診療所事業特別会 計補正予算(第3号)	原案可決		

条 例

□松浦市火葬場の設置及び管理に関する条 例の制定について	原案可決	◇松浦市下水道条例の一部改正について	原案可決
○松浦市手数料条例の一部改正について	原案可決	◇松浦市都市下水路条例の一部改正について	原案可決
◇松浦交通センターの設置及び管理に関す る条例の全部改正について	原案可決	◇松浦市公営住宅条例の一部改正について	原案可決
◇今福交通待合所の設置及び管理に関する 条例の全部改正について	原案可決	◇松浦市特定公共賃貸住宅条例の一部改正 について	原案可決
◇松浦市林業開発促進資金貸付条例の一部 改正について	原案可決	◇松浦市定住促進住宅条例の一部改正につ いて	原案可決
○松浦市林業開発促進資金融資損失補償条 例の一部改正について	原案可決	◇松浦市再開発住宅条例の一部改正について	原案可決

そ の 他

□松浦地区火葬場組合の解散について	原案可決	◇損害賠償額の決定について	原案可決
□松浦地区火葬場組合の解散に伴う事務の 承継について	原案可決	◇財産の取得について	原案可決
□松浦地区火葬場組合の解散に伴う財産処 分について	原案可決	◇市道の路線認定について	原案可決
□損害賠償額の決定について	原案可決	□長崎県後期高齢者医療広域連合規約の一 部を変更する規約について	原案可決

決算審査特別委員会設置・審査付託

▼平成23年度松浦市一般会計の決算認定に ついて	認 定
▼平成23年度松浦市青島診療所事業特別会計 の決算認定ほか各特別会計の決算認定12件	認 定

同意案・諮問

※松浦市公平委員会委員の選任について (志佐町里免 山崎 昭 氏)	同 意
※松浦市教育委員会委員の任命について (今福町北免 武部 周清 氏)	同 意
※人権擁護委員候補者の推薦について (今福町北免 近藤 敦臣 氏)	了 承

請 願

○拉致問題の早期解決を求める意見書決議 に関する請願について	採 択
◇市道江口野山線排水路改良工事に関する 請願について	継続審査

議員提出議案

※松浦市議会会議規則の一部改正について	原案可決
※国の出先機関の原則廃止に関する意見書 の提出について	原案可決
※森林吸収源対策を推進するための森林整備等 に係る財源の確保を求める意見書の提出について	原案可決
※拉致問題の早期解決を求める意見書の提 出について	原案可決

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎…各常任委員会(総務・文教厚生・産業経済)へ分割付託

※…委員会付託を省略し全員審査 ○…総務委員会

◇…産業経済委員会

▼…決算審査特別委員会

□…文教厚生委員会